

予測結果



事後調査結果(令和2年2月19日)



【予測結果と事後調査結果の比較(表 6.15-9 より抜粋)】

計画建築物は、予測結果どおり周辺の中高層建築物の合間から一部が視認可能であるが、現状の中高層建築物群の一部として認識されることから計画建築物による眺望景観の影響は小さい。



写真 6.15-10(2) 予測結果と事後調査結果の比較(SS30) (2/2)

地点 11：愛宕神社(展葉期(夏季))

予測結果



事後調査結果(令和2年8月20日)



【予測結果と事後調査結果の比較(表 6.15-9 より抜粋)】

計画建築物は、予測結果どおり現状の市街地中高層建築物群の奥に一部が視認可能であるが、現状の中高層建築物群の一部として認識されることから計画建築物による眺望景観の影響は小さい。



写真 6.15-11(1) 予測結果と事後調査結果の比較(愛宕神社) (1/2)

地点 11：愛宕神社(落葉期(冬季))

予測結果



事後調査結果(令和2年2月4日)



【予測結果と事後調査結果の比較(表 6.15-9 より抜粋)】

計画建築物は、予測結果どおり現状の市街地中高層建築物群の奥に一部が視認可能であるが、現状の中高層建築物群の一部として認識されることから計画建築物による眺望景観の影響は小さい。



写真 6.15-11(2) 予測結果と事後調査結果の比較(愛宕神社)(2/2)

地点 12：長喜城(夏季(展葉期))

予測結果



事後調査結果(令和2年8月19日)



【予測結果と事後調査結果の比較(表 6.15-9 より抜粋)】

撮影地点周辺は予測時にはなかった住宅街や商業施設が形成されており、周辺環境に変化が見られた。予測では、奥に広がる市街地の中高層建築物の合間から計画建築物の一部が視認できるとしていたものの、実際には視認することができなかったことから、計画建築物による眺望景観への影響はない。



写真 6.15-12(1) 予測結果と事後調査結果の比較(長喜城) (1/2)

地点 12 : 長喜城(冬季(落葉期))

予測結果



事後調査結果(令和2年2月21日)



【予測結果と事後調査結果の比較(表 6.15-9 より抜粋)】

撮影地点周辺は予測時にはなかった住宅街や商業施設が形成されており、周辺環境に変化が見られた。予測では、奥に広がる市街地の中高層建築物の合間から計画建築物の一部が視認できるとしていたものの、実際には視認できなかったことから、計画建築物による眺望景観への影響はない。



写真 6.15-12(2) 予測結果と事後調査結果の比較(長喜城) (1/2)

(2) 検討結果

事後調査結果は、概ね予測結果と一致し、計画建築物は現状市街地の街並みと一体となった都市景観を形成している。地点 1 の宮城野原公園から病院が視認できなくなった理由としては、写真の撮影位置の地盤高さ(TP16.0m)であったが、隣接している道路の地盤高さ(TP18.9m)を宮城野球場の平均的な高さとして採用し予測を行ったことで、予測地盤高さに 2.9m の差が生じたことによるものと考えられる。しかし、実際には医療センターを視認することができず、景観に変化はないことから、影響はないと考えられる。

また、環境保全措置として、街全体の景観形成や面的な広がりのあるネットワーク創出を目指して、街路樹との一体的な緑化整備を行い、街の景観整備に寄与するとともに、生け垣と葉張りの狭い高木で駐車場を囲うことで圧迫感を軽減するような配慮を行っている。

したがって、施設の存在による景観への影響は、低減されているものと評価し、追加的環境保全措置は実施しない。

6.16. 自然との触れ合いの場

6.16.1. 環境の状況

(1) 調査内容

自然との触れ合いの場の現地調査は、表 6.16-1 に示すとおり、文献調査や現地踏査により抽出された自然との触れ合いの場の「分布」、「利用」及び「場の特性」の把握に努めた。

調査内容は、表 6.16-1 のとおりである。

表 6.16-1 調査内容(自然との触れ合いの場)

調査項目	調査内容
自然との触れ合いの場	施設の稼働(駐車場・病院)、資材・製品・人等の運搬・搬出による自然との触れ合いの場の状況の変化(供用による影響)

(2) 調査方法

調査方法は、表 6.16-2 に示すとおりとした。

表 6.16-2 調査方法(自然との触れ合いの場)

調査内容	調査項目	調査方法
施設の稼働(駐車場・病院)、資材・製品・人等の運搬・搬出による自然との触れ合いの場の状況の変化(供用による影響)	触れ合いの場の分布	調査方法は、既存文献調査の結果に基づき現地調査を実施し、自然との触れ合いの場としての利用範囲を把握するものとした。
	利用状況	調査方法は、既存文献調査の結果に基づき現地調査を実施し、利用者数、利用者の属性、利用内容、利用範囲又は場所、利用の多い場所等を把握するものとした。
	触れ合いの場の特性	調査方法は、地形・地質の既存文献調査、植物、動物等の調査結果及び現地踏査により触れ合い活動に利用されている場の構成要素の内容、特性を把握するものとした。

(3) 調査地域及び調査地点

調査範囲は、計画地及びその周辺において、触れ合いの場に対する影響が想定される計画地より 500m の範囲とした。




調査地点は、表 6.16-3 及び図 6.16-1 に示すとおり、調査範囲の中で触れ合いの場に対する影響が想定される 7 地点とした。

表 6.16-3 調査地点(自然との触れ合いの場)

地点番号	調査地点	計画地からの距離
1	宮城野原公園	0m(隣接地)
2	榴岡公園(旧歩兵第4連隊兵舎)	約 450m
3	五輪ちびっこ広場	約 350m
4	宮城野八幡神社(苦竹のイチョウ)	約 250m
5	南宮城野公園	約 350m
6	五輪一丁目公園	約 170m
7	宮城野通	約 300m



凡 例

-  : 対象事業計画地
-  : 区境界線
-  : 調査・予測地域(対象事業計画地より500mの範囲)

調査・予測地点

- | | |
|----------------------|-------------|
| ① : 宮城野原公園 | ⑤ : 南宮城野公園 |
| ② : 榴岡公園(旧歩兵第4連隊兵舎) | ⑥ : 五輪一丁目公園 |
| ③ : 五輪ちびっこ広場 | ⑦ : 宮城野通 |
| ④ : 宮城野八幡神社(苦竹のイチョウ) | |

図 6.16-1 自然との触れ合いの場調査地点
(現地調査)



S=1:10,000

0 100 200 400m

(4) 調査期間等

調査時期は、表 6.16-4 に示すとおり、令和 3 年の春季～冬季の 4 季とした。

調査時間は、利用者が多く集まる休日の昼間の時間帯 7：00～17：00 を基本とし、2 時間ごとに調査を実施した。

表 6.16-4 調査期間等(自然との触れ合いの場)

調査項目	調査期間等
自然との触れ合いの場	春季：令和 3 年 5 月 30 日(日)7:00～17:00 夏季：令和 3 年 8 月 22 日(日)7:00～17:00 秋季：令和 3 年 10 月 24 日(日)7:00～17:00 冬季：令和 3 年 12 月 19 日(日)7:00～17:00

(5) 調査結果

既存文献調査により抽出された自然との触れ合いの場のうち、本事業による影響を考慮した計画地より 500m の範囲に存在する「宮城野原公園」、「榴岡公園」、「五輪ちびっこ広場」、「宮城野八幡神社」、「南宮城野公園」、「五輪一丁目公園」及び「宮城野通」を調査地点とし、現地調査にて分布を確認した。

① 宮城野原公園

a) 触れ合いの場の分布

宮城野原公園における主な施設の状況は、図 6.16-2 及び写真 6.16-1 に示すとおりである。



① 宮城球場



② 仙台市陸上競技場



③ 宮城テニスコート

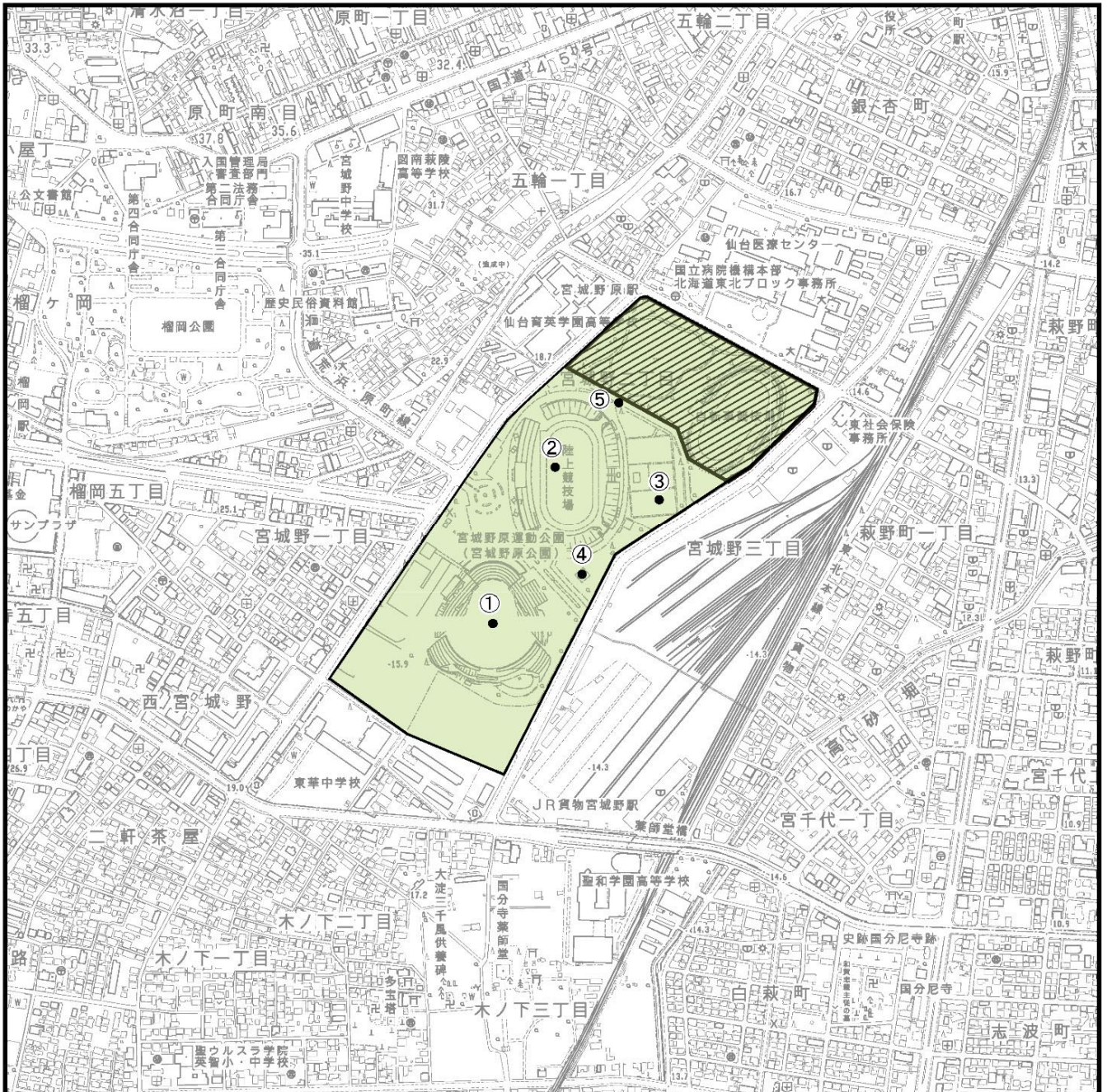


④ 宮城相撲場



⑤ ウォーミングアップ場

写真 6.16-1 主な施設の状況(宮城野原公園)



凡 例



-  : 対象事業計画地
-  : 調査地点(宮城野原公園)
- : 主な施設
 - ① 宮城球場
 - ② 仙台市陸上競技場
 - ③ 宮城テニスコート
 - ④ 宮城相撲場
 - ⑤ ウォーミングアップ場

図 6.16-2 触れ合いの場の分布(宮城野原公園)



S=1:10,000

0 100 200 400m



b) 利用状況

現地調査時における利用者数を表 6.16-5 に示す。

利用者は平均で大人が約 8 割を占め、春季及び秋季はプロ野球の開催の影響で調査日の測定数はいずれも 5,000 名超と多くの利用者が確認された。夏季は大きなスポーツイベント等はないが、新型コロナウイルスのワクチン集団接種が行われており、計 789 名の施設利用者が確認された。冬季は陸上競技場での練習などが見受けられたが、他の季節と比較して人手は少なく、計 221 名の施設利用者が確認された。

利用者の主な交通手段は、公共交通機関から現地までの徒歩、自転車及び自動車であり、スポーツイベント開催時は大型バスによる来園もあった。

また、宮城野原公園の利用状況を表 6.16-6 に示す。

利用内容は、1 年を通じて仙台市陸上競技場、宮城テニスコート、宮城自転車競技場を中心としたスポーツ目的の利用者が多かった。ウォーミングアップ場及び多目的広場等は競技のウォーミングアップ及び練習に活用されていた。また、犬の散歩、ジョギングでの利用及び通勤・通学での通過が確認された。利用者の属性は、スポーツ団体、中高生を中心とした部活動のグループ及び個人での利用が多かった。

季節的な利用内容は、春季及び秋季は宮城球場におけるプロ野球の試合をはじめ、陸上競技場での陸上競技大会、テニスコートの利用などがあり、スポーツ観戦及び練習に集まる利用者が非常に多かった。夏季は、ワクチン集団接種会場が設営されており、ワクチン接種に集まる人々が多かった。冬季は、陸上競技場内で競技の練習をしている人々が多数見られた。

利用場所は、宮城球場、陸上競技場、テニスコート、ウォーミングアップ場等の施設のほか、多目的広場や遊歩道等の全体が、スポーツ及び散策・遊びに広く利用されていた。

表 6.16-5 利用者数調査結果(宮城野原公園)

調査日		大人	小人	合計
春季	令和 3 年 5 月 30 日(日)	4,864 名	689 名	5,553 名
夏季	令和 3 年 8 月 22 日(日)	746 名	43 名	789 名
秋季	令和 3 年 10 月 22 日(日)	6,977 名	1,091 名	8,068 名
冬季	令和 3 年 12 月 19 日(日)	219 名	2 名	221 名

※ 利用者数は 8:00、10:00、12:00、14:00、16:00 の時間帯において測定した利用者数の合計である。

また、宮城球場、仙台市陸上場等の施設利用については、利用者数が多数であるため、概数で計数した。

表 6.16-6 宮城野原公園の利用状況

調査時期	春季	夏季
利用状況	 <p data-bbox="389 692 820 719">楽天球場のイベントに参加する人々</p>	 <p data-bbox="959 692 1410 719">ワクチンの集団接種会場に集まる人々</p>
調査時期	秋季	冬季
利用状況	 <p data-bbox="421 1189 791 1216">リレーマラソンに参加する人々</p>	 <p data-bbox="1075 1189 1291 1216">犬の散歩をする人</p>

c) 触れ合いの場の特性

宮城野原公園は、昭和 27 年に完成した都市計画公園である。園内にはプロ野球球団東北楽天ゴールデンイーグルスの本拠地である宮城球場があるほか、仙台市陸上競技場、宮城テニスコート、宮城相撲場、ウォーミングアップ場等数多くのスポーツ施設がある。スポーツ競技・練習の場、憩いの場及び遊びの場として、幅広く利用されている。

② 榴岡公園

a) 触れ合いの場の分布

榴岡公園における主な施設の状況は、図 6.16-3 及び写真 6.16-2 に示すとおりである。



① 仙台市歴史民俗資料館



② 芝生広場



③ 噴水広場



④ 遊具広場



⑤ 3on3 バスケットボールコート



⑥ 野外音楽堂

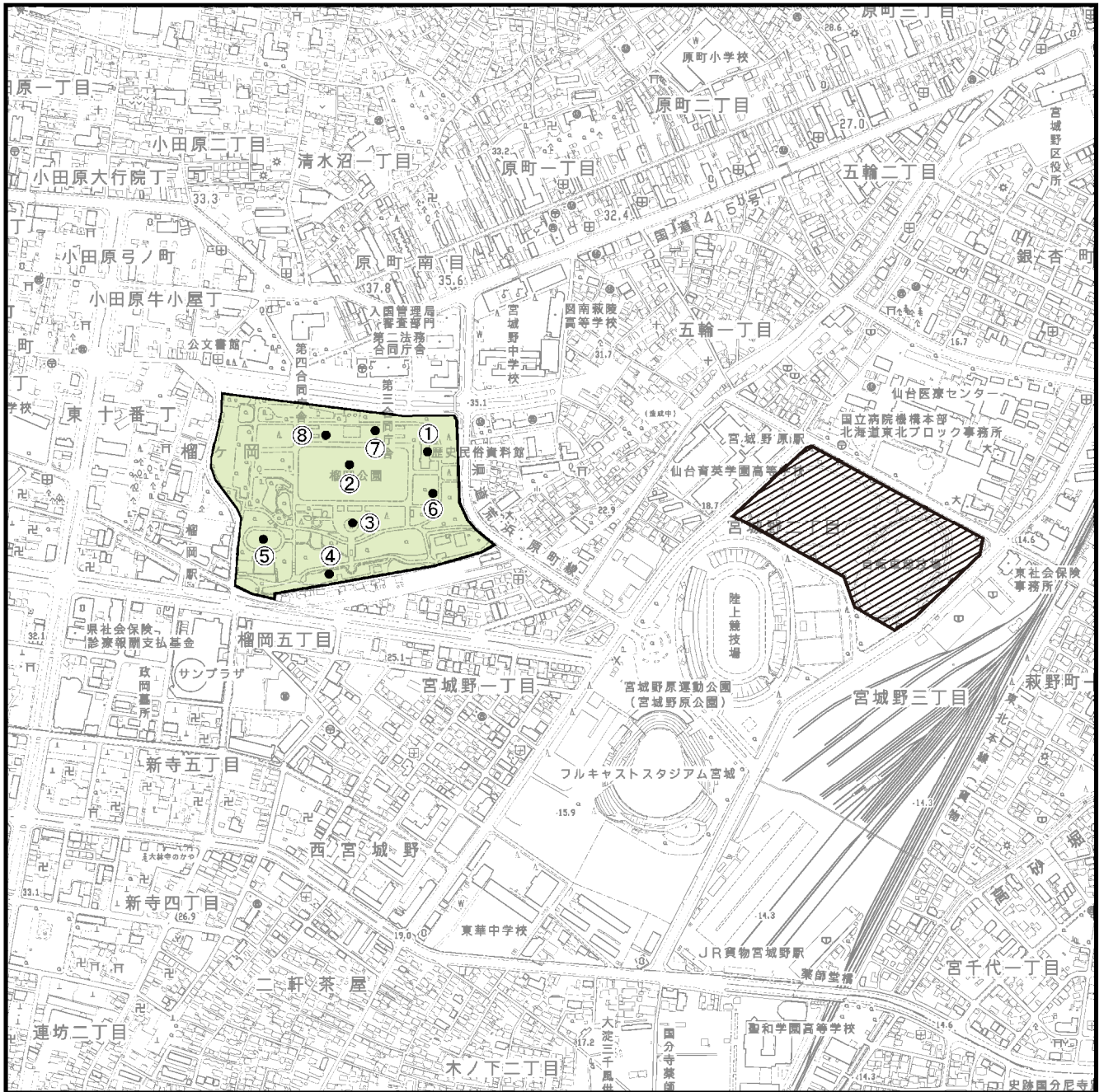


⑦ あずまや





⑧ テーブル

写真 6.16-2 主な施設の状況(榴岡公園)



凡 例

 : 対象事業計画地

 : 調査地点(榴岡公園)

- : 主な施設
- ① 仙台市歴史民俗資料館
- ② 芝生広場
- ③ 噴水広場
- ④ 遊具広場
- ⑤ 3on3/バスケットボールコート
- ⑥ 野外音楽堂
- ⑦ あずまや
- ⑧ テーブル

図 6.16-3 触れ合いの場の分布(榴岡公園)



S=1:10,000

0 100 200 400m

b) 利用状況

現地調査時における利用者数を表 6.16-7 に示す。

利用者は大人が 7 割程度で親子連れが多く、調査日において春季は 1,905 名、夏季 805 名、秋季 1,723 名、冬季 515 名であった。

利用者の主な交通手段は、徒歩、自転車及び自動車であった。

また、榴岡公園の利用状況を表 6.16-8 に示す。

利用内容は、散策、ジョギング、広場や遊具での遊びが多く、利用者の属性は、親子連れの利用が目立った。朝は散歩や体操、ジョギング等健康増進目的での利用が多く、日中には親子連れや子どもグループによる遊びの利用が増加し、休憩や昼食をとるグループもみられた。また、あずまや等での歌や楽器練習など文化的活動、テーブルを利用した麻雀などの利用もみられた。

季節的な利用内容の割合に変化はみられなかった。

表 6.16-7 利用者数調査結果(榴岡公園)

調査日		大人	小人	合計
春季	令和 3 年 5 月 30 日(日)	1,268 名	637 名	1,905 名
夏季	令和 3 年 8 月 22 日(日)	575 名	230 名	805 名
秋季	令和 3 年 10 月 22 日(日)	1,103 名	620 名	1,723 名
冬季	令和 3 年 12 月 19 日(日)	398 名	117 名	515 名

※ 利用者数は 8:00、10:00、12:00、14:00、16:00 の時間帯において測定した利用者数の合計である。

表 6.16-8 榴岡公園の利用状況

調査時期	春季	夏季
利用状況	 <p data-bbox="472 696 740 723">噴水で水遊びをする子供</p>	 <p data-bbox="1110 696 1273 723">散歩をする人々</p>
調査時期	秋季	冬季
利用状況	 <p data-bbox="496 1189 711 1216">サッカーをする人々</p>	 <p data-bbox="1114 1189 1286 1216">広場で遊ぶ親子</p>

c) 触れ合いの場の特性

榴岡公園は、明治 35 年に開園した都市計画公園で、「日本の都市公園 100 選」(緑の文明学会・日本公園緑地協会選定)、「わがまち緑の名所 100 選」(仙台市選定)に選定されており、桜の名所としても有名である。

園内には、旧歩兵第四連隊兵舎を移築・復元した宮城県内最古の洋風木造建築物である仙台市歴史民俗資料館がある。芝生広場、噴水広場、野外音楽堂のほか、3on3 バasketボールコートやスケートボード施設を備え、散策、スポーツ練習、遊び、音楽など様々な利用の場として親しまれている。

③ 五輪ちびっこ広場

a) 触れ合いの場の分布

五輪ちびっこ広場における主な施設の状況は、図 6.16-4 及び写真 6.16-3 に示すとおりである。



① 五輪地蔵尊



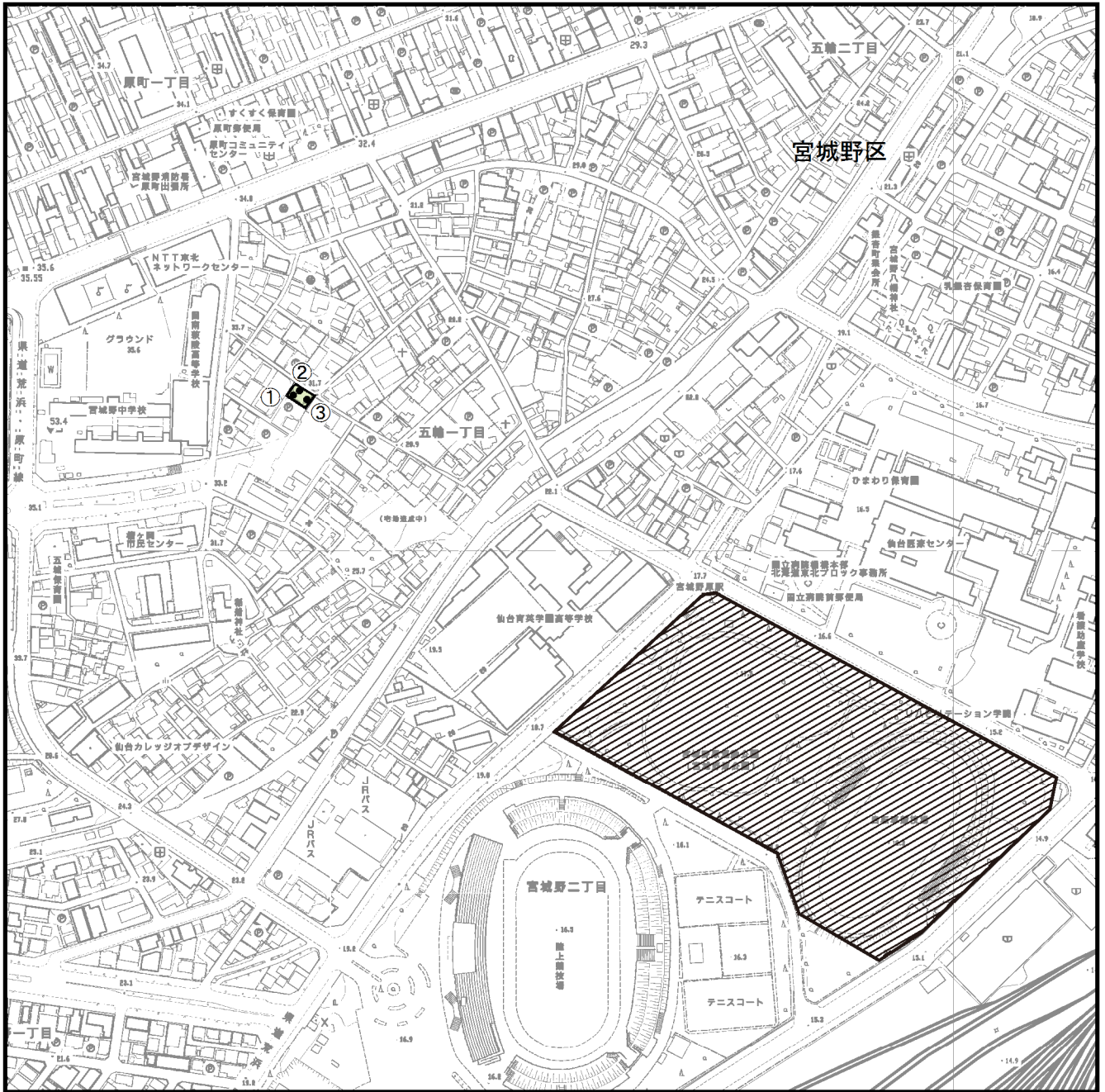
② 砂場・ベンチ※

※砂場については、評価書時には存在したが、現在は公園の改修工事に伴い撤去されていた。



③ 遊具

写真 6.16-3 主な施設の状況(五輪ちびっこ広場)



凡 例



：対象事業計画地



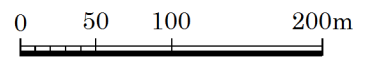
：調査地点(五輪ちびっこ広場)

- ：主な施設
 - ① 五輪地蔵尊
 - ② 砂場・ベンチ
 - ③ 遊具

図 6.16-4 触れ合いの場の分布(五輪ちびっこ広場)



S=1:5,000



b) 利用状況

現地調査時における利用者数を表 6.16-9 に示す。

利用者は、春季に 5 名、夏季に 8 名、秋季に 4 名、冬季に 5 名であった。利用者の主な交通手段は徒歩であった。

また、五輪ちびっこ広場の利用状況を表 6.16-10 に示す。

利用内容は、親子連れでの遊具遊び、小学生グループの遊び利用であった。

表 6.16-9 利用者数調査結果(五輪ちびっこ広場)

調査日		大人	小人	合計
春季	令和 3 年 5 月 30 日(日)	1 名	4 名	5 名
夏季	令和 3 年 8 月 22 日(日)	8 名	0 名	8 名
秋季	令和 3 年 10 月 22 日(日)	3 名	1 名	4 名
冬季	令和 3 年 12 月 19 日(日)	1 名	4 名	5 名

※ 利用者数は 8:00, 10:00, 12:00, 14:00, 16:00 の時間帯において測定した利用者数の合計である。

表 6.16-10 五輪ちびっこ広場の利用状況

調査時期	春季	夏季
利用状況	 <p>遊具で遊ぶ子供</p>	 <p>公園の状況</p>
調査時期	秋季	冬季
利用状況	 <p>遊具で遊ぶ親子</p>	 <p>公園の状況</p>

c) 触れ合いの場の特性

五輪ちびっこ広場は、計画地から約 350m の距離にあり、元寺小路福室線外 1 線に近接する公園である。

園内にはブランコ、滑り台などの遊具、砂場があり、五輪地蔵尊がある。親子連れの身近な遊びの場として利用されている。